



横須賀軍港巡り・

日本近代化の礎を訪ねて

神奈川県 第70回イベント報告



神奈川県では、この「横須賀軍港巡り」の企画は10年ほど前にも実施しており、今回が2度目の催しでした。敢えて、この予定を立てたのは、前回実施した時の評判がよかったことと、丁度、ウクライナとロシアによる戦争や中国の台湾海峡への威嚇等もあり軍港に関心が高ま

っている時期でもありましたので、これを企画いたしました。実施日直前に、大型台風14号の上陸もあり、実施できるかどうか気をもみましたが、当日は、台風一過、曇天でしたが、ほとんど雨にも降られず予定通りに開催できました。



当日（9月22日）は、18名の参加を得て、午前11時に、軍港最寄りの京急線「汐入駅」に集合し、石川会長の挨拶、飯田実行委員長による行程説明、吉川理事長からご挨拶があり、皆さんからご芳志（ワンコイン募金）をいただいた後、早速、徒歩で至近距離にある遊覧船の船着き場に向かいました。



正午出港の観光船に乗り、周りに停泊中の日米艦船の壮観さを眺めながら、この軍港に詳しい乗組員による名調子の解説を聞き、45分間の遊覧を楽しみました。まじかにイージス艦、潜水艦、南極観測船「しらせ」や最新鋭の駆逐艦など多くの艦船を見ることができました。日本で、日米艦船を同時に見ることが出来るのは、この横須賀港だけですので、参加者の皆さんも感動され満足されたよう見えました。

下船後、昼食を各々が分かれてレストラン等が多く入っている「コースカ」内の気に入った店で楽しみました。ご当地名物の「横須賀海軍カレー本舗」にも8人ほど入られました。



食後、昨年「ヴェルニー公園」入口に設置された「ディボティエ邸」前で集合写真を撮り、邸内では、別室で説明を聞く組と邸内を見学する組の2班に分かれて、1時間ほど過ごし、予定通り午後3時に解散となりました。



今年、4月に北海道の知床半島で観光船による大事故や直前の大型台風来襲等案ずることがいろいろありましたが、「記念艦三笠を運営する信頼できる会社の観光船」でしたので、安全面では万全だろうとの思いで実施し、お陰様で楽しく一日を終えることが出来ました。

参加者皆様のご協力に感謝申し上げます。



文章	次田 文彦
写真	石川 義明 富山 友次
編集	富山 友次